

文藝と思想

第 65 号

『徒然草』近世的享受の一面 — 艸田齋寸木子三徑『つれづれ草絵抄』序説 — 大久保 順 子 1
草双紙の仮名遣い — 『无筆節用似字尽』寛政板と天保板との比較を通して — 矢 野 準 21
広瀬旭荘の「夜過二州橋書矚目」詩 — 成立事情とその推敲の態度をめぐって — 月 野 文 子 33
日本における李退溪研究と現代的意義について 疋 田 啓 佑 47
カントにおける哲学と歴史 望 月 俊 孝 63
書評：マリア・フビーニ・レウッツィ 『「名誉へと導く」— 近代フィレンツェにおける家族、結婚、嫁資援助』 北 田 葉 子 (63)
教育課程改革と精神科学の概念 — 知識を習得するとはどのようなことか — 森 邦 昭 (25)
The Time of Evasion C. S. Schreiner (1)
彙 報 85
